

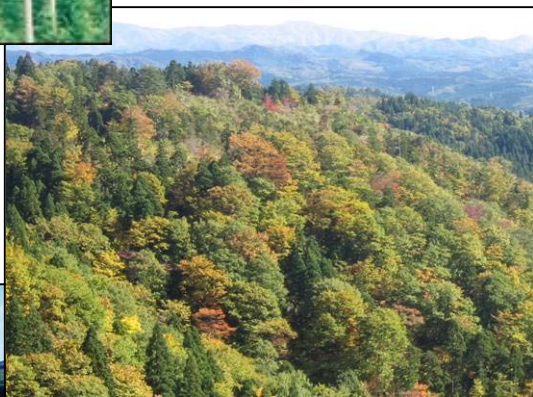
自然共生の智慧の再興・発展（その2）



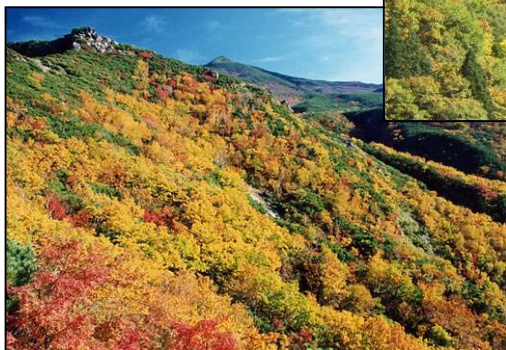
人工林



海岸林



針広混交林



貴重な森林生態系(知床保護林)

我が国は、1億の人口がある先進国でありながら国土の3分の2が森林で覆われる世界有数の緑豊かな森林国。長い年月をかけて森林を整備・保全し、その多様な恵みを暮らしの中に活かしている。

例えば、海岸沿いの松林、スギやヒノキ等の人工林、多様な樹種で構成される針広混交林、知床等の原生的で貴重な天然林のように、ニーズに応じて多様な森林が整備・保全されている。

日本では、国や自治体、所有者、そして地域住民等が、森林計画や保安林等の制度のもと、緑の社会資本の整備や林業、環境教育など多様な形で森林に関わることにより、多様な森林を維持していく社会システムが形成されている。

自然共生の智慧の再興・発展（その3）

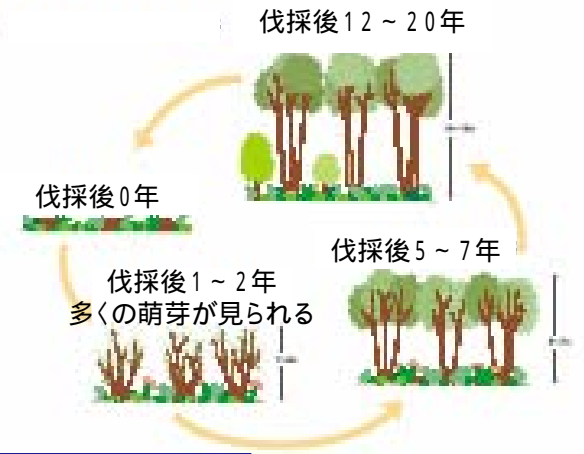
SATOYAMAイニシアティブ

里地里山

—伝統的な自然共生の智慧—

自然を尊重し、共生することを常とする自然観
自然をうまく利用しながら培ってきた知恵と技術
地域共同体による共同作業やルール

雑木林の持続的利用のイメージ



かつて、持続的な資源管理、循環型社会、自然共生社会を実現

世界に提案

「SATOYAMAイニシアティブ」

現代の知識や技術



バイオマス・エコツーリズムなど

世界各地の
伝統的な
自然共生の智慧

+

新たな共同体の構築

都市住民や企業などの参画

=

世界各地の
自然・社会条件を
尊重した自然共生社会

自然共生の智慧の再興・発展（その4）

美しい日本の自然キャンペーン

「美しい日本の自然」の再発見 / アジア・海外への発信

日本の自然の特徴

多様な地形と生態系がもたらす美しい自然風景
数多くの固有の動植物が身近に生育・生息
多様な主体の関わりによる保全・活用の伝統



美しい自然：日本を代表する国立公園の大自然の風景から里地里山が織りなす日本人の原風景まで

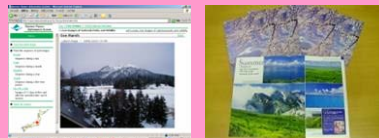
自然体験の推進

日本の自然ならではの自然体験プログラムやエコツーリズムの推進



情報発信

国立公園や日本の自然についての国内外への情報発信(インターネット他)



受入れ体制の整備

自然体験の場(施設)の整備
自然観察ガイドの育成
外国語標識・パンフレットの整備



アジア諸国に対する技術支援等

地域との協働による日本型自然資源管理(国立公園管理)技術を途上国で取り入れるための専門家の派遣。共同による国際的情報発信

日本のすばらしさ・美しさの再認識と将来を担う子供達に対する原体験の付与
国際交流の促進・観光客誘致、技術協力によるアジアの自然環境保全の実現

自然共生の智慧の再興・発展（その5）

「2010年目標」の達成は厳しい状況。国家戦略の3度目の策定を通じて温暖化対策との統合的推進等を行うほか、次期世界目標の設定をリードする。また、「里地里山」に代表される日本モデルとしての自然共生の知恵を国内・世界に発信する。

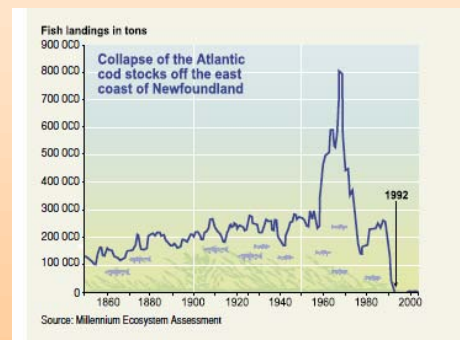
[現状と問題点]

2010年目標（世界目標）の達成は困難

GBO (Global Biodiversity Outlook(2006年)) によれば、大半の評価項目で悪化しており、目標達成は厳しい状況

2010年目標：2010年までに生物多様性の損失速度を顕著に減少させる

GBO：生物多様性条約事務局が世界の生物多様性の状況を15の指標を用いて評価したもの



1992年に発生した、ニューファンドランド東岸における大西洋タラ个体群の崩壊



[今後の施策の方向と課題]

国内における取組の着実な推進

- ・生物多様性国家戦略の3度目の策定と着実な実行
- ・100年先を見越した国土のグランドデザイン提示
- ・「3つの危機」への対応強化
- ・温暖化対策と生物多様性施策の統合的推進
- ・「さとやま自然資源共用プラン」の創設

国際的なリーダーシップの発揮

里地里山 / SATOYAMA
を発信

持続可能な利用の日本モデルを国内外に発信 -

- ・条約締約国会議(2010年日本開催)で採択する次期世界目標の設定をリード
- ・世界に先駆けた日本版GBOの実施
- ・アジア国立公園イニシアチブ
- ・全球的サンゴ礁保護区ネットワークの構築



次期世界目標の設定に向けた リーダーシップの発揮（その1）

生物多様性条約

経緯

- ・1992年 ...地球サミットで採択、翌年日本が締結
- ・(2007年4月 現在、190か国(EUを含む。米国は未締結。))

目的

生物多様性の保全、 生物多様性の構成要素の持続可能な利用、
遺伝資源の利用から生ずる利益の公正かつ衡平な配分

2010年目標

- ・「2010年までに生物多様性の損失速度を顕著に減少させること」
- ・COP6(2002年、ハーグ)にて採択。

今後のスケジュール

- ・2007年：第3次生物多様性国家戦略策定
- ・2008年：G8サミット(日本)
- ・2010年：生物多様性条約COP10の日本開催、国連「国際生物多様性年」